



## 気象の急変に伴う海難を防ぐために

「小型船舶の海難を防ぐ3つのポイント」については、右図の項目が重要だと、講習会等でお話をさせて貰っているところですが、これから冬場にかけては、急速に発達する低気圧の影響等により、気象・海象を把握していなかったが故の海難発生が予想されることから、今月は、気象の急変に伴う海難を未然に防ぐ対策について、考えたいと思います。

### 小型船舶の海難を防ぐ3つのポイント

見張りの徹底

発航前点検の徹底

気象・海象の把握



### 「発航前点検」・「気象・海象の把握」の重要性を示す事故事例

本年6月、北海道岩内町沖（約1キロ沖合い）で、ボートが転覆し3人死亡1人が行方不明となる痛ましい海難事故が発生しました。

当初、事故船舶から「エンジントラブルで漂流している。」との通報があり、巡視艇が到着した時には既にボートは転覆しておりました。

地元の漁師らは、「今朝の海の状態では、沖に出れる状態ではない。」とインタビューで答えております。（新聞報道）



### 天候の急変に伴う船舶海難を未然に防ぐには何が重要なのか？

これから冬場にかけては、急速に発達する低気圧の影響により、天候が急変することがあります。気象・海象の急変に伴う海難を起こさないためには、やはり次のことが重要です。

天気予報などの情報の入手に努める。

風・雲・波浪などの変化に注意する。（観天望気の把握）

悪天候が予想されるときには、無理な出港（出漁）は止める。

遊漁中（操業中）天候が崩れだしたら、無理をせず早めに帰港する。

#### 出港前にはウェザーチェック！

気象庁ホームページ  
テレビ・ラジオ等  
海上保安庁 沿岸域情報(MICS)  
<http://kaiho.mlit.go.jp/info/mics>



#### 航行海域を調べよう！

浅瀬、岩場、定置網などの確認  
(海図、情報図等の利用)  
水域利用に係るローカルルール情報  
(PW安全協会) <http://www.pwsa-jp.com/>